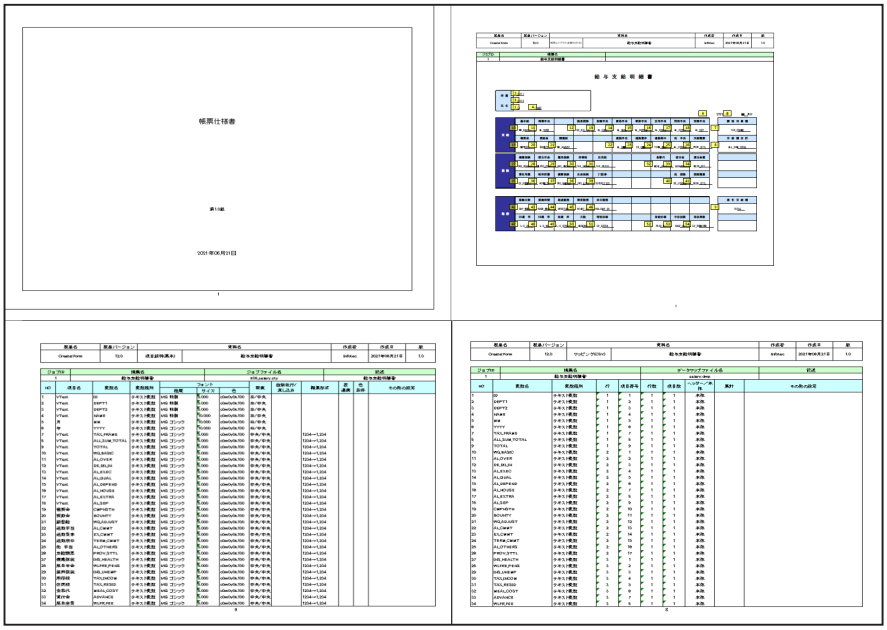
帳票仕様書

1. 機能概要 2
1-1. CreateSpec 起動方法 2
1-2. 帳票仕様書の自動生成に必要な帳票資源ファイル 2
1-3. 帳票仕様書の出力対象 2
1-4. 動作環境 3
2. 動作環境 4
3. 画面説明 5
3-1. CreateSpec ダイアログ 5
3-2. オプションダイアログ 7
3-3. エラーダイアログ 8
3-4. 進捗ダイアログ 8
4. 操作説明 9
1. 作業ディレクトリの選択 9
2. Job ファイルの選択 10
3. 出力先ディレクトリ名の選択 10
4. 仕様書ファイル名の選択 10
5. 帳票一覧の出力設定 10
6. 仕様書情報の入力 10
7. 仕様書作成 10
5. その他 12
5-1. 帳票一覧について 12
5-2. マルチフォーム帳票について 12
5-3. マルチデータソース帳票について 13
5-4. 表オブジェクトを含む帳票について 13
5-5. 帳票仕様書の Excel シートの生成順序について 14
5-6. 帳票仕様書の出力ファイル名として使用不可な文字について 16
5-7. ログ情報について 16
6. エラーコード 18
エラーコード一覧 18
エラーレベル 18
警告レベル 27
7. 制限事項 29
7-1. 動作環境について 29
7-2. 動作全般について 29
7-3. 仕様出力について 29
7-4. 帳票一覧について 30
7-5. 出力ファイル形式について 30
7-6. 帳票レイアウトについて 30

1. 機能概要

Create!Form では作成した帳票資源ファイルから Excel 形式の帳票仕様書の自動生成を行うことが可能です。この帳票仕様書の自動生成を行う際は帳票仕様書自動生成ツール「CreateSpec」を使用します。なお、出力される帳票仕様書は「Excel ブック（*.xlsx）形式」にて生成されるため、幅広い Excel のバージョンでの閲覧、編集、印刷が可能です。

図：帳票仕様書



1-1. CreateSpec 起動方法

CreateSpec は以下の 2 通りの起動方法があります。
・マネージャーのメニュー [ツール]-[帳票仕様書]
・マネージャーのツールボタン [仕様書]

1-2. 帳票仕様書の自動生成に必要な帳票資源ファイル

・Job ファイル
・Form ファイル
・Datamap ファイル（帳票種別がオーバーレイの場合を除く）

1-3. 帳票仕様書の出力対象

作業ディレクトリに含まれている Job ファイルごとに帳票仕様書の自動生成を行います。
複数の Job ファイルをまとめて自動生成することが可能です。
※複数の Job ファイルの帳票仕様書を自動生成した場合は、Job ファイルごとに Excel ファイルが分割されます。

1-4. 動作環境

CreateSpec の動作には、VBA マクロの実行が可能な Excel がインストールされている環境が必要となります。この環境を満たしていない場合は、帳票仕様書の自動生成を行うことができません。
※動作環境についての詳細は「2. 動作環境」をご覧ください。

2. 動作環境

CreateSpec の動作環境は以下の通りです。

Microsoft Windows Server 2012 R2
Microsoft Windows Server 2016
Microsoft Windows Server 2019
Microsoft Windows 10

英語 OS でも以下の設定が行われていれば動作保証しています。
・表示言語の設定を「日本語」にして第一言語にする。
・地域の Unicode 対応ではないプログラムの言語のシステムロケールを「日本語（日本）」にする。

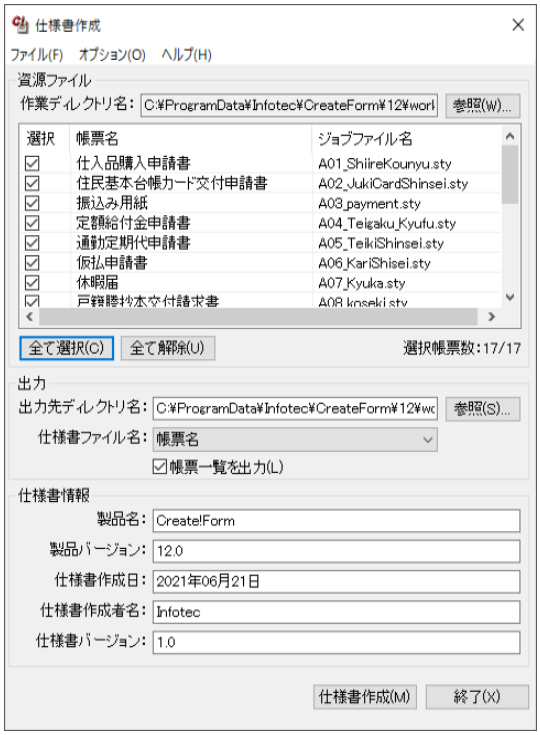
Microsoft Excel 2013
Microsoft Excel 2016
Microsoft Excel 2019
※要 VBA マクロ (Visual Basic for Application) 実行環境

3. 画面説明

ここでは CreateSpec の画面説明を行います。

3-1. CreateSpec ダイアログ

図：CreateSpec ダイアログ



■資源ファイル

[作業ディレクトリ名]

マネージャーで選択中の作業ディレクトリが初期値として入力されます。作業ディレクトリを変更する場合は、[参照] ボタンをクリックして任意の作業ディレクトリを選択します。
※作業ディレクトリ以外のディレクトリは選択できません。

[ジョブリスト]

作業ディレクトリ名で指定した作業ディレクトリに含まれる Job ファイルの一覧が表示されます。ジョブリスト内の [選択] 項目にチェックを付けた Job ファイルが帳票仕様書の自動生成の対象となります。すべての Job ファイルを選択する場合は、[全て選択] ボタンをクリックします。また、すべての Job ファイルの選択を解除する場合は、[全て解除] ボタンをクリックします。

[選択帳票数]

ジョブリストで選択されている Job ファイルの数が表示されます。

■出力

[出力先ディレクトリ名]

ここで指定したディレクトリに帳票仕様書がすべて自動生成されます。出力先ディレクトリを変更する場合は、[参照] ボタンをクリックして任意のディレクトリを選択します。

[仕様書ファイル名]

自動生成される帳票仕様書のファイル名として、[帳票名] または [ジョブファイル名] から選択可能です。[帳票名] を選択した場合は、ジョブリストに表示されている帳票名が帳票仕様書のファイル名となります。[ジョブファイル名] を選択した場合は、ジョブリストに表示されている Job ファイル名が帳票仕様書のファイル名となります。また、ジョブリストから二つ以上の Job ファイルを選択した場合、[帳票一覧を出力] のオプションが有効になります。この帳票一覧は、自動生成した各帳票仕様書のインデックスとなるファイルです。この帳票一覧も帳票仕様書と同様に Excel 形式のファイルで自動生成されます。初期値では [帳票一覧を出力] のオプションが有効となっています。帳票一覧の自動生成が不要な場合はチェックを解除してください。

※帳票一覧についての詳細は「5-1. 帳票一覧について」をご覧ください。

<< 注意 >>

帳票仕様書ファイル名として [帳票名] を選択した場合は、帳票名が未入力の Job ファイルを選択することはできません。また、帳票名の重複した Job ファイルを複数同時に選択して帳票仕様書の自動生成を行うことはできません。この場合は、帳票名が重複した Job ファイルを複数同時に選択せずに自動生成するか、帳票仕様書ファイル名として [ジョブファイル名] を選択してください。

■仕様書情報

帳票仕様書のヘッダー部に出力される仕様書情報を入力します。帳票仕様書の製品名、製品バージョン、仕様書作成日、仕様書作成者名、仕様書バージョンの入力が可能です。入力した仕様書情報は帳票一覧および自動生成される帳票仕様書すべてのヘッダー部に出力されます。

※入力した仕様書情報は CreateSpec の終了時に保存されます。また、仕様書作成日については自動的に日付が入力されます。

■ [仕様書作成] ボタン

ジョブリストで選択した Job ファイルの帳票仕様書を自動生成します。

なお、[仕様書作成] ボタンは、ジョブリストから Job ファイルが選択され、出力先ディレクトリ名が入力された場合のみ有効となります。

■ [終了] ボタン

CreateSpec を終了します。

■ツールメニュー

[仕様書作成]

画面上の [仕様書作成] ボタンと同様の動作です。

[終了]

画面上の [終了] ボタンと同様の動作です。

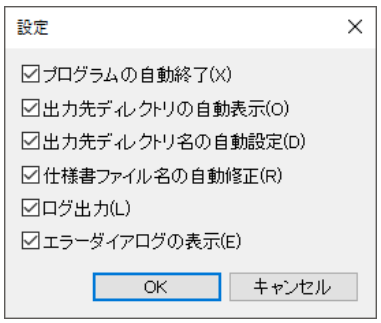
[設定]
CreateSpec の環境設定を行うオプションダイアログを表示します。
※オプションダイアログについての詳細は「3-2. オプションダイアログ」をご覧ください。

[ログ表示]
帳票仕様書の自動生成時に出力されるログファイルを表示します。
※ログ情報についての詳細は「5-7. ログ情報について」をご覧ください。

[バージョン情報]
CreateSpec のバージョン情報および著作権情報を表示します。

3-2. オプションダイアログ

図：オプションダイアログ



オプションダイアログでは CreateSpec の環境設定を行います。
オプションダイアログはツールメニュー [オプション]-[設定] から起動します。
それぞれの設定項目については以下の通りです。

[プログラムの自動終了]
帳票仕様書の自動生成がすべて完了した後に自動的に CreateSpec を終了します。

[出力先ディレクトリの自動表示]
帳票仕様書の自動生成がすべて完了した後に自動的に出力先のディレクトリを開きます。

[出力先ディレクトリ名の自動設定]
作業ディレクトリと同じディレクトリを帳票仕様書の出力先ディレクトリとして自動的に設定します。

[仕様書ファイル名の自動修正]
帳票仕様書の出力ファイル名に使用不可な文字が含まれていた場合に、自動的に使用可能な代替文字への置換を行います。
※帳票仕様書の出力ファイル名として使用不可な文字についての詳細は「5-6. 帳票仕様書の出力ファイル名として使用不可な文字について」をご覧ください。

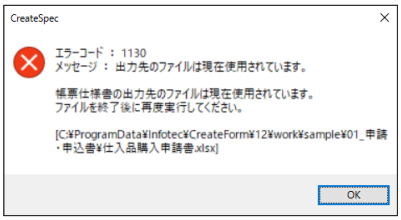
[ログ出力]
帳票仕様書の自動生成時およびエラー発生時にログの出力を行います。
出力されたログの内容はツールメニュー [オプション]-[ログ表示] から閲覧可能です。

※ログ情報についての詳細は「5-7. ログ情報」をご覧ください。

[エラーダイアログの表示]
帳票仕様書の自動生成時にエラーが発生した際にエラーダイアログを表示します。
※エラーダイアログについての詳細は「3-3. エラーダイアログ」をご覧ください。

3-3. エラーダイアログ

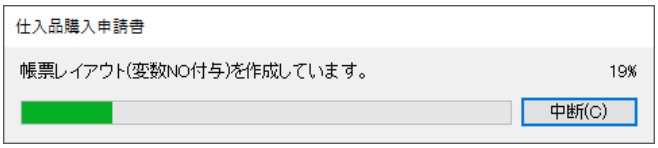
図：エラーダイアログ



何らかのエラー発生時にはエラーダイアログが表示されます。エラーダイアログには、エラーコード、エラーメッセージ、対処、エラー値が表示されます。
※エラーダイアログはオプション［ エラーダイアログの表示 ］の設定が有効な場合のみ表示されます。

3-4. 進捗ダイアログ

図：進捗ダイアログ



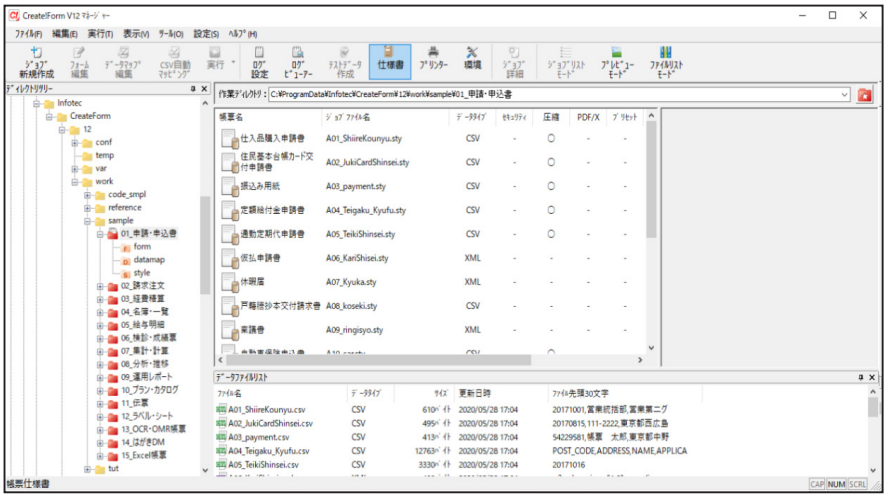
帳票仕様書の自動生成を開始すると、進捗ダイアログが表示されます。この進捗ダイアログでは、現在処理中の帳票名、生成中のシート名、進捗状況が表示されます。また、帳票仕様書の自動生成の処理を中断することができます。処理を中断する場合は、［ 中断 ］ボタンをクリックし、中断確認メッセージで［ はい ］ボタンをクリックしてください。
なお、処理中にエラーが発生した場合は、自動的に中断される場合があります。

<< 注意 >>
帳票仕様書の自動生成中に中断を行った場合、自動生成済みの帳票仕様書については削除されません。
途中まで自動生成された帳票仕様書が不要な場合は手動で削除する必要があります。

4. 操作説明

ここではマネージャーでの作業ディレクトリの選択から、帳票仕様書の自動生成までの一連の操作手順を説明します。

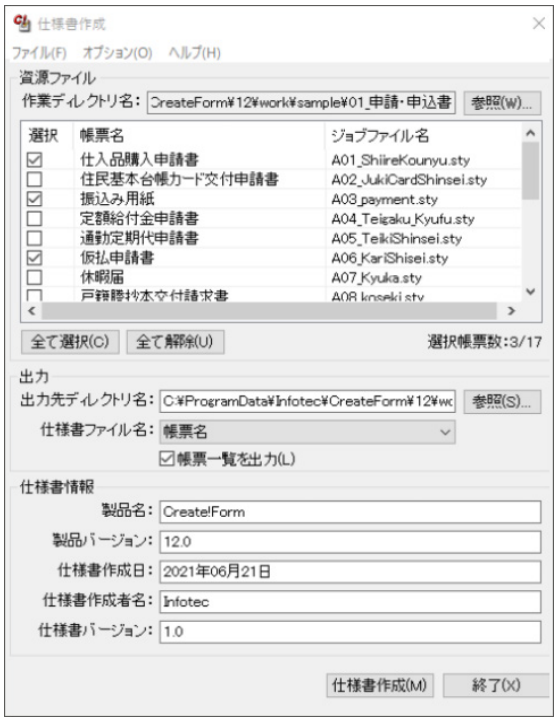
図：マネージャー



1. 作業ディレクトリの選択

マネージャーにて帳票仕様書を出力する作業ディレクトリを選択し、ツールボタンの［仕様書］をクリックします。

図：CreateSpec



2. Job ファイルの選択

作業ディレクトリ名が初期値として入力され、Job ファイルの一覧が表示された状態で CreateSpec が起動します。帳票仕様書を自動生成する Job ファイルの［選択］にチェックを付けます。

3. 出力先ディレクトリ名の選択

［参照］ボタンをクリックし、帳票仕様書の出力先ディレクトリを選択します。

4. 仕様書ファイル名の選択

ファイル名として［帳票名］を選択します。

5. 帳票一覧の出力設定

［帳票一覧を出力］にチェックを付けます。

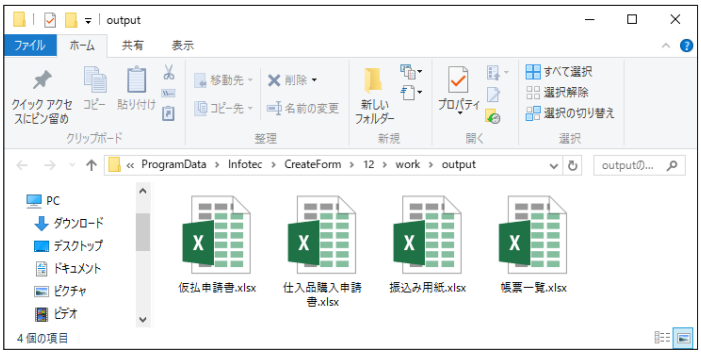
6. 仕様書情報の入力

仕様書情報の各項目を任意で入力します。

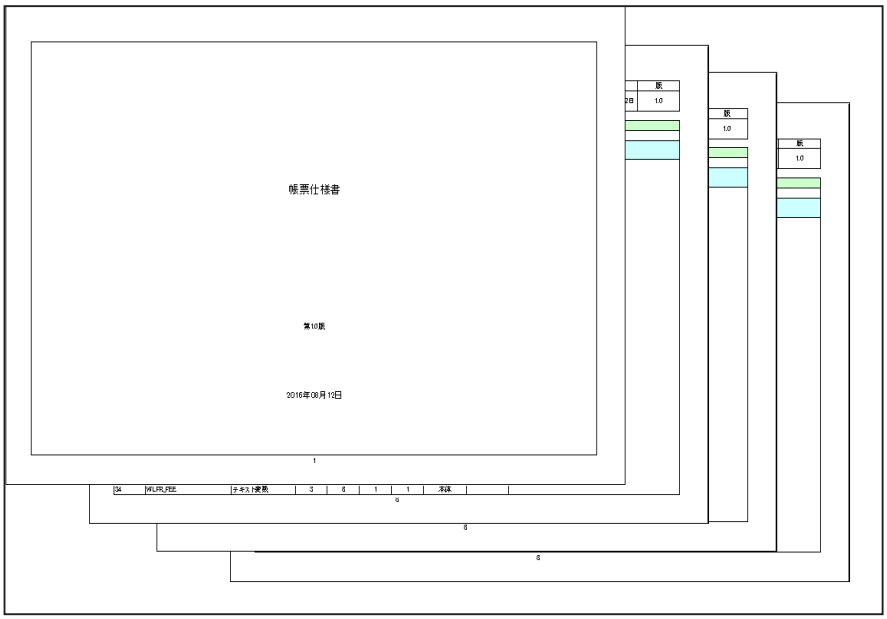
7. 仕様書作成

一通りの設定が完了しましたら、［仕様書作成］ボタンをクリックします。進捗ダイアログが表示され、選択した出力先ディレクトリへ帳票一覧と帳票仕様書が自動生成されます。

図：出力先ディレクトリ



図：帳票仕様書サンプル



以上で帳票仕様書の自動生成が完了しました。

5. その他

5-1. 帳票一覧について

帳票一覧は自動生成された各帳票仕様書のインデックスとなるファイルです。
出力先ディレクトリ名で指定したディレクトリへ出力されます。
帳票一覧を出力するためには、ジョブリストから複数の Job ファイルを選択し、出力項目にある［帳票一覧を出力］を有効にする必要があります。

図：帳票一覧

製品名	製品バージョン	資料名	作成者	作成日	版
Create!Form	12.0	帳票一覧	Infotec	2021年06月01日	1.0

ジョブID	帳票名	ジョブファイル名	仕様書ファイル名
1	仕入品購入申請書	A01_ShireKounyu.sty	仕入品購入申請書.xlsx
2	住民基本台帳カード交付申請書	A02_JukiCardShinsei.sty	住民基本台帳カード交付申請書.xlsx
3	振込み用紙	A03_payment.sty	振込み用紙.xlsx
4	定額給付金申請書	A04_Teigaku_Kyufu.sty	定額給付金申請書.xlsx
5	通勤定期代申請書	A05_TeikiShinsei.sty	通勤定期代申請書.xlsx
6	仮払申請書	A06_KariShinsei.sty	仮払申請書.xlsx
7	休暇届	A07_Kyuka.sty	休暇届.xlsx
8	戸籍謄抄本交付請求書	A08_koseki.sty	戸籍謄抄本交付請求書.xlsx

左からジョブ ID、帳票名、Job ファイル名、仕様書ファイル名が出力されます。
仕様書ファイル名の項目は自動生成された帳票仕様書へのリンクとなっており、ファイル名をクリックするとそれぞれの帳票仕様書を開くことができます。

<< 注意 >>
帳票一覧のファイル名は「帳票一覧.xlsx」です。ファイル名の変更はできません。

5-2. マルチフォーム帳票について

マルチフォームの Job ファイルを使用した場合、ジョブユニットの数だけ Excel シートが生成されます。Excel シート名の一つ目の"_"（アンダーバー）直後の数値がジョブユニット ID です。
ジョブユニットの数に応じて 1、2、3…と順次ジョブユニット ID が振られていきます。

図：ジョブユニット ID

上記の例では「項目説明（基本）_1」となっているため、ジョブユニット ID が「1」の帳票仕様書シートです。

5-3. マルチデータソース帳票について

マルチデータソースの Job ファイルを使用した場合、各ジョブユニットのデータソースの数だけ Excel シートが生成されます。Excel シート名の二つ目の"_"（アンダーバー）の直後の数値がデータソース ID です。

図：データソース ID

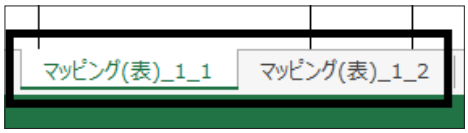
上記の例では「マッピング (CSV)_1_4」となっているため、ジョブユニット ID が「1」、データソース ID が「4」の帳票仕様書シートです。

<< 注意 >>
帳票仕様書シート「マッピング（表）_X_X」の二つ目の"_"（アンダーバー）の直後の数値はデータソース ID ではありません。
「マッピング（表）_X_X」シートのみ、二つ目の"_"の直後の数値は表オブジェクト ID を表しています。

5-4. 表オブジェクトを含む帳票について

表オブジェクトを含む帳票資源ファイルを使用した場合、「マッピング（表）_X_X」シートが表オブジェクトの数だけ生成されます。Excel シート名の二つ目の"_"（アンダーバー）の直後の数値が表オブジェクト ID です。存在する表オブジェクトの数に応じて 1、2、3…と順次表オブジェクト ID が振られていきます。

図：表オブジェクト ID



上記のでは「マッピング（表）_1_1」および「マッピング（表）_1_2」となっているため、ジョブユニット ID が「1」、表オブジェクト ID が「1」と「2」の帳票仕様書シートです。

この表オブジェクト ID は「項目説明（表）_X_X」の各 "_"（アンダーバー）数値と一致しています。「項目説明（表）」と「マッピング（表）」のシートを照らし合わせることで、表オブジェクトの仕様を確認することができます。

5-5. 帳票仕様書の Excel シートの生成順序について

帳票仕様書の Excel シートの生成順序は以下の通りです。シート名の番号順に自動生成されます。なお、帳票仕様書の自動生成の際に、出力する情報が無い Excel シートに関しては自動生成されません。

1. 表紙
帳票仕様書の表紙です。このシートは常に生成されます。

2. 目次
帳票仕様書に含まれるシートの内容が記述されます。このシートは常に生成されます。

3. ジョブ
Job ファイルのジョブユニットの構成が記述されます。このシートは常に生成されます。

4. 帳票レイアウト (原紙)
フォームのレイアウト画像が確認できます。このシートはフォームの数に応じて生成されます。

5. 帳票レイアウト (変数 NO 付与)
フォームのレイアウト画像と変数オブジェクトの配置が確認できます。なお、変数オブジェクトごとに自動的に No が割り当てられます。この No はハイパーリンクとなっており、クリックすると変数オブジェクトの仕様が記述されたシートへ移動できます。このシートはフォームの数に応じて生成されます。

6. 項目説明 (基本)
それぞれの変数オブジェクトの仕様が記述されます。このシートはフォームの数に応じて生成されます。

7. 項目説明 (グラフ)
グラフオブジェクトの仕様が記述されます。このシートはグラフオブジェクトの含まれているフォームの数に応じて生成されます。

フォームの数に応じて生成されます。

8. 項目説明 (表)
表オブジェクトの仕様が記述されます。このシートは表オブジェクトの数と表オブジェクトの含まれているフォームの数に応じて生成されます。

9. 項目説明 (バーコード)
バーコードオブジェクトの仕様が記述されます。このシートはバーコードオブジェクトの含まれているフォームの数に応じて生成されます。

10. 項目説明 (2D コード)

2D コードオブジェクトの仕様が記述されます。このシートは 2D コードオブジェクトの含まれているフォームの数に応じて生成されます。

11. 項目説明 (動的オブジェクト)

動的オブジェクトの仕様が記述されます。このシートは動的オブジェクトの含まれているフォームの数に応じて生成されます。

12. 項目説明 (表連携)

表連携オブジェクトの仕様が記述されます。このシートは表連携オブジェクトの含まれているフォームの数に応じて生成されます。

13. マッピング (CSV)

マッピング（CSV）のデータマッピング仕様が記述されます。このシートはデータタイプが CSV 形式の場合に生成されます。

14. マッピング (テキスト)

マッピング（ テキスト ）のデータマッピング仕様が記述されます。このシートはデータタイプがテキスト形式の場合に生成されます。

15. マッピング (XML)

マッピング（XML）のデータマッピング仕様が記述されます。このシートはデータタイプが XML 形式の場合に生成されます。

16. マッピング (DB)

マッピング (DB) のデータマッピング仕様が記述されます。このシートはデータタイプがデータベース形式の場合に生成されます。

17. マッピング (表)

表オブジェクトの詳細マッピング仕様が記述されます。このシートは表オブジェクトの数に応じて生成されます。

5-6. 帳票仕様書の出力ファイル名として使用不可な文字について

Excel ファイルの文字制限により、ファイル名として不可な文字が存在します。オプション画面にて［仕様書ファイル名の自動修正］の設定が有効な場合は、以下の内容に従って文字を置換後に帳票仕様書の自動生成が行われます。
※［仕様書ファイル名の自動修正］の設定が無効で、ファイル名として使用不可な文字が含まれていた場合はエラーとなり、帳票仕様書の自動生成は中断されます。

［使用不可文字］	**［置換文字］**
（半角スペース）	_（半角）
.（半角）	（削除）
¥（半角）	￥（全角）
/（半角）	／（全角）
:（半角）	：（全角）
*（半角）	＊（全角）
?（半角）	？（全角）
″（半角）	”（全角）
<（半角）	＜（全角）
>（半角）	＞（全角）
|（半角）	｜（全角）
[（半角）	[（全角）
]（半角）	]（全角）

5-7. ログ情報について

ログ情報はオプションダイアログにて［ログ出力］の設定が有効な場合のみ出力されます。
ログ情報はツールメニュー［オプション］-［ログ表示］から参照できます。なお、ログの参照時は Windows で関連付け設定されているテキストエディターで表示されます。
出力されるログ情報の詳細については以下の通りです。

［出力日時］
ログ情報の出力日時です。
出力フォーマットは以下の通りです。
YYYY/MM/DD hh:mm:ss （年 / 月 / 日 時：分：秒）

［ステータス］
ログ情報の種別です。
種別は以下の通りです。

Information	処理が正しく完了したことを示すログ情報
Error	処理中に何かしらのエラーが発生したことを示すログ情報
Warning	処理中に何かしらの警告が発生したことを示すログ情報
Message	処理中に出力されたメッセージログ情報

［コード］
警告やエラーが発生した際に出力される 4 桁のエラーコードです。
なお、正常処理時には 0 が出力されます。
※エラーコードについての詳細は「6. エラーコード」をご覧ください。

[メッセージ]
処理中に出力されるメッセージです。
処理メッセージやエラーの発生原因が出力されます。

[パラメーター]
追加の処理メッセージが出力されます。

[ジョブ ID]
処理中のジョブ ID が出力されます。
Job ファイルごとにジョブ ID が自動で割り当てられます。

[帳票名]
処理中の帳票名が出力されます。

[作業ディレクトリ]
処理中の作業ディレクトリ名が出力されます。

[ジョブファイル]
処理中の Job ファイル名が出力されます。

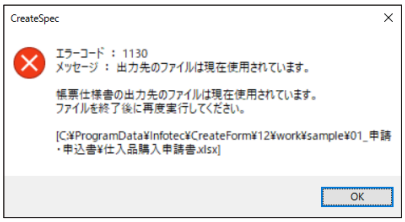
[出力先]
帳票仕様書の自動生成を行う出力先ディレクトリ名が出力されます。

[処理時間]
帳票仕様書の自動生成の処理時間がミリ秒単位で出力されます。
各処理ごとに処理時間が計測されます。

6. エラーコード

処理中に何かしらのエラーが発生した際は、以下のようなエラーコードとメッセージが出力されます。

図：エラーダイアログ



<< 注意 >>
オプションダイアログにて［ログ出力］または［エラーダイアログの表示］の設定が有効でない場合は、エラーコードの確認を行うことができません。
事前にオプションダイアログにて設定を行ってください。

エラーコード一覧

※エラーの説明文のプログラムフォルダー、ユーザー設定（共通）フォルダー、ユーザー設定（ユーザー）フォルダーはマネージャーの［ヘルプ］-［バージョン情報］-［バージョン情報詳細］で確認できます。

エラーレベル

1000：c4.dll ファイルが見つかりません。
説明：CreateSpec の動作に必要なファイル（プログラムフォルダー直下の c4.dll）が見つかりませんでした。正しくインストールが行われていない可能性があります。
対処：再インストールを行ってください。
ログ：ファイルのフルパス

1001：CreateSpec.dat ファイルが見つかりません。
説明：CreateSpec の動作に必要なファイル（プログラムフォルダー直下の CreateSpec.dat）が見つかりませんでした。正しくインストールが行われていない可能性があります。
対処：再インストールを行ってください。
ログ：ファイルのフルパス

1002：FormEdit.exe ファイルが見つかりません。
説明：CreateSpec の動作に必要なファイル（プログラムフォルダー直下の FormEdit.exe）が見つかりませんでした。正しくインストールが行われていない可能性があります。
対処：再インストールを行ってください。
ログ：ファイルのフルパス

1003：CreateSpecList.dat ファイルが見つかりません。
説明：CreateSpec の動作に必要なファイル（プログラムフォルダー直下の CreateSpecList.dat）が見つかりませんでした。正しくインストールが行われていない可能性があります。
対処：再インストールを行ってください。
ログ：ファイルのフルパス

1005：初期化ファイルが見つかりません。
説明：CreateSpec の動作に必要なファイル（ユーザー設定（ユーザー）フォルダー直下の CreateV12.ini）が見つかりませんでした。正しくインストールが行われていない可能性があります。
対処：再インストールを行ってください。
ログ：ファイルのフルパス

1006：Create!Form がインストールされていません。
説明：CreateSpec の動作には Create!Form のインストールが必要です。
対処：Create!Form のインストールを行ってください。

1007：Create!Form が正しくインストールされていません。
対処：再インストールを行ってください。

1008：データ編集ファイルが見つかりません。
説明：CreateSpec の動作に必要なファイル（ユーザー設定（共通）フォルダー直下の EFmEdit.dat）が見つかりませんでした。正しくインストールが行われていない可能性があります。
対処：再インストールを行ってください。
ログ：ファイルのフルパス

1009：データ編集ファイルの読み込みに失敗しました。
説明：CreateSpec の動作に必要なファイル（ユーザー設定（共通）フォルダー直下の EFmEdit.dat）が読み込めませんでした。正しくインストールが行われていない可能性があります。
対処：再インストールを行ってください。
ログ：ファイルのフルパス

1010：Visual Basic for Application がインストールされていません。
説明：Excel のマクロ機能が利用することができません。
対処：Excel のインストーラーを起動し、Visual Basic for Application の追加インストールを行ってください。
ログ：vbe

1011：Excel がインストールされていません。
説明：CreateSpec の動作には Excel のインストールが必要です。
対処：Excel のインストールおよび Visual Basic for Application の追加インストールを行ってください。
ログ：Excel not installed

1012：Excel 初期化エラーが発生しました。
説明：Excel を正しく初期化することができませんでした。
対処：Excel のバージョンが正しいか確認してください。必要な動作環境については「7. 制限事項」をご覧ください。
ログ：Excel not initialized error

1013：Excel 処理エラーが発生しました。
説明：Excel を正しく処理することができませんでした。
対処：Excel のバージョンが正しいか確認してください。必要な動作環境については「7. 制限事項」をご覧ください。
ログ：Workbooks error

1014：Excel 処理エラーが発生しました。
説明：Excel を正しく処理することができませんでした。
対処：Excel のバージョンが正しいか確認してください。必要な動作環境については「7. 制限事項」をご覧ください。
ログ：Open error

1015：Excel 処理エラーが発生しました。
説明：Excel を正しく処理することができませんでした。
対処：Excel のバージョンが正しいか確認してください。必要な動作環境については「7. 制限事項」をご覧ください。
ログ：Worksheets error

1016：Excel 処理エラーが発生しました。
説明：Excel を正しく処理することができませんでした。
対処：Excel のバージョンが正しいか確認してください。必要な動作環境については「7. 制限事項」をご覧ください。
ログ：Rectangles error

1017：Excel 処理エラーが発生しました。
説明：Excel を正しく処理することができませんでした。
対処：Excel のバージョンが正しいか確認してください。必要な動作環境については「7. 制限事項」をご覧ください。
ログ：Rectangle error

1018：Excel 処理エラーが発生しました。
説明：Excel を正しく処理することができませんでした。
対処：Excel のバージョンが正しいか確認してください。必要な動作環境については「7. 制限事項」をご覧ください。
ログ：Caption error

1019：Excel 処理エラーが発生しました。
説明：Excel を正しく処理することができませんでした。
対処：Excel のバージョンが正しいか確認してください。必要な動作環境については「7. 制限事項」をご覧ください。
ログ：Name error

1020：Excel 処理エラーが発生しました。
説明：Excel を正しく処理することができませんでした。
対処：Excel のバージョンが正しいか確認してください。必要な動作環境については「7. 制限事項」をご覧ください。
ログ：Border error

1021：Excel 処理エラーが発生しました。
説明：Excel を正しく処理することができませんでした。
対処：Excel のバージョンが正しいか確認してください。必要な動作環境については「7. 制限事項」をご覧ください。
ログ：Color error

1022：Excel 処理エラーが発生しました。
説明：Excel を正しく処理することができませんでした。
対処：Excel のバージョンが正しいか確認してください。必要な動作環境については「7. 制限事項」をご覧ください。
ログ：Interior error

1023：Excel 処理エラーが発生しました。
説明：Excel を正しく処理することができませんでした。
対処：Excel のバージョンが正しいか確認してください。必要な動作環境については「7. 制限事項」をご覧ください。
ログ：ShapeRange error

1024：Excel 処理エラーが発生しました。
説明：Excel を正しく処理することができませんでした。
対処：Excel のバージョンが正しいか確認してください。必要な動作環境については「7. 制限事項」をご覧ください。
ログ：Fill error

1025：Excel 処理エラーが発生しました。
説明：Excel を正しく処理することができませんでした。
対処：Excel のバージョンが正しいか確認してください。必要な動作環境については「7. 制限事項」をご覧ください。
ログ：Transparency error

1026：Excel 処理エラーが発生しました。
説明：Excel を正しく処理することができませんでした。
対処：Excel のバージョンが正しいか確認してください。必要な動作環境については「7. 制限事項」をご覧ください。
ログ：Characters error

1027：Excel 処理エラーが発生しました。
説明：Excel を正しく処理することができませんでした。
対処：Excel のバージョンが正しいか確認してください。必要な動作環境については「7. 制限事項」をご覧ください。
ログ：Font error

1028：Excel 処理エラーが発生しました。
説明：Excel を正しく処理することができませんでした。
対処：Excel のバージョンが正しいか確認してください。必要な動作環境については「7. 制限事項」をご覧ください。
ログ：Size error

1029：Excel 処理エラーが発生しました。
説明：Excel を正しく処理することができませんでした。
対処：Excel のバージョンが正しいか確認してください。必要な動作環境については「7. 制限事項」をご覧ください。
ログ：HorizontalAlignment error

1030：Excel 処理エラーが発生しました。
説明：Excel を正しく処理することができませんでした。
対処：Excel のバージョンが正しいか確認してください。必要な動作環境については「7. 制限事項」をご覧ください。
ログ：VerticalAlignment error

1040：メモリの確保に失敗しました。
説明：帳票仕様書の生成に必要なメモリの確保が正しく行えませんでした。
対処：起動中のアプリケーションを終了させてください。

1050：fonts.dat ファイルが見つかりません。
説明：CreateSpec の動作に必要なファイル（ユーザー設定（共通）フォルダー直下の fonts.dat）が見つかりませんでした。正しくインストールが行われていない可能性があります。
対処：再インストールを行ってください。
ログ：ファイルのフルパス

1051：fontnums.dat ファイルが見つかりません。
説明：CreateSpec の動作に必要なファイル（ユーザー設定（共通）フォルダー直下の fontnums.dat）が見つかりませんでした。正しくインストールが行われていない可能性があります。
対処：再インストールを行ってください。
ログ：ファイルのフルパス

1052：フォントファイルの読み込みに失敗しました。
説明：CreateSpec の動作に必要なファイル（ユーザー設定（共通）フォルダー直下の fonts.dat）が読み込めませんでした。正しくインストールが行われていない可能性があります。
対処：再インストールを行ってください。

1120：XML 初期化エラーが発生しました。
説明：XML パーサーを正しく初期化できませんでした。
対処：XML パーサーが正しく実行できる環境であるか確認してください。
ログ：Datamap error

1130：出力先のファイルは現在使用されています。
説明：出力先のファイルへの上書きに失敗しました。
対処：出力先のファイルを終了させてください。
ログ：出力先ファイル名

1131：出力先のファイル名は長すぎます。
説明：出力先のファイル名が長いため、出力を行うことができませんでした。
対処：出力先のファイル名を短く設定してから再度出力を行ってください。
ログ：出力先ファイル名

1132：保存先ディレクトリ名が不正です。
説明：保存先ディレクトリが存在していない可能性があります。
対処：保存先ディレクトリが正しく存在しているか確認してください。
ログ：出力先ディレクトリ名

1133：同一帳票名のジョブファイルが選択されています。
説明：同一帳票名の Job ファイルが選択されているため、出力を行うことができませんでした。
対処：同一帳票名の Job ファイルの選択をやめるか、仕様書ファイル名を［ジョブファイル名］に設定してください。
ログ：同一帳票名

1134：保存先ディレクトリ名に″[″または″]″が含まれています。
説明：保存先ディレクトリ名に不正な文字が含まれているため、出力を行うことができませんでした。
対処：保存先ディレクトリとして不正な文字を含まないディレクトリを指定してください。
ログ：出力先フォルダー名

1135：ディレクトリの新規作成に失敗しました。
説明：ディレクトリの新規作成が正しく行えませんでした。
対処：ディレクトリの作成先が正しいか確認してください。
ログ：ディレクトリ名

1140：帳票レイアウト画像の作成に失敗しました。
説明：Create!Form が正しくインストールされていません。
対処：再インストールを行ってください。
ログ：帳票レイアウト画像ファイル名

1143：一時ファイルの作成に失敗しました。
説明：出力先ディレクトリに一時ファイルを作成できませんでした。
対処：ファイルの書き込み権限および出力先のディレクトリ名が正しいか確認してください。
ログ：コピー元ファイル名 / コピー先ファイル名

1144：ファイル名が不正です。
説明：帳票仕様書の出力に必要な情報が不足しています。
対処：選択した帳票資源ファイルのディレクトリ名や出力先のディレクトリ名が正しいか確認してください。
ログ：ファイル名

1145：帳票一覧ファイルの作成に失敗しました。
説明：帳票一覧ファイルの作成が正しく行えませんでした。
対処：ファイルの書き込み権限および出力先のディレクトリ名が正しいか確認してください。
ログ：コピー元ファイル名 / コピー先ファイル名

1153：一時ファイルの削除に失敗しました。
説明：一時ファイルの削除が正しく行えませんでした。
対処：ファイルの権限およびファイルが使用状態でないか確認してください。
ログ：仕様書テンプレートファイル名

1160：ログファイルの作成に失敗しました。
説明：ログファイルの作成が正しく行えませんでした。
対処：ファイルの書き込み権限およびファイルが使用状態でないか確認してください。

1161：ログファイルの更新に失敗しました。
説明：ログファイルの更新が正しく行えませんでした。
対処：ファイルの書き込み権限およびファイルが使用状態でないか確認してください。

1162：不正なログ形式です。
説明：不正なログ形式が指定されました。
対処：ログファイルの出力中に致命的なエラーが発生しました。正しい Job ファイルが指定されているか確認してください。

1170：コマンドライン引数が不正です。
説明：コマンドライン引数の解析に失敗しました。
対処：Job ファイル名の指定方法が正しいか確認してください。
ログ：Job ファイル名

1171：コマンドライン引数が不正です。
説明：コマンドライン引数の解析に失敗しました。
対処：仕様書出力ファイル名モードの指定方法が正しいか確認してください。
ログ：仕様書出力ファイル名モード

1172：作業ディレクトリが存在しません。
説明：コマンドライン引数に正しい作業ディレクトリ名が指定されていません。
対処：作業ディレクトリ名の指定方法が正しいか確認してください。
ログ：作業ディレクトリ名

1173：コマンドライン引数が不正です。
説明：コマンドライン引数の解析に失敗しました。
対処：オプションの指定方法が正しいか確認してください。
ログ：オプション

1174：コマンドライン引数が不正です。
説明：コマンドライン引数の解析に失敗しました。
対処：オプションの指定方法が正しいか確認してください。
ログ：オプション

1175：コマンドライン引数が不正です。
説明：コマンドライン引数の解析に失敗しました。
対処：コマンドラインの指定方法が正しいか確認してください。
ログ：コマンドライン

1176：ジョブファイルが存在しません。
説明：コマンドライン引数の解析に失敗しました。
対処：Job ファイル名の指定方法が正しいか確認してください。
ログ：Job ファイル名

1177：コマンドライン引数が不正です。
説明：コマンドライン引数の解析に失敗しました。
対処：出力先ディレクトリ名の指定方法が正しいか確認してください。
ログ：出力先ディレクトリ名

1178：コマンドライン引数が不正です。
説明：コマンドライン引数の解析に失敗しました。
対処：オプションの指定方法が正しいか確認してください。
ログ：オプション

1179：コマンドライン引数が不正です。
説明：コマンドライン引数の解析に失敗しました。
対処：オプションの指定方法が正しいか確認してください。
ログ：オプション

1180：仕様書ファイル名が不正です。
説明：出力ファイル名に不正な文字が含まれています。
対処：出力ファイル名に使用できない文字が含まれていないか確認してください。詳細については前述の「ファイル名として使用できない文字について」をご覧ください。
ログ：出力ファイル名

1181：コマンドライン引数が不正です。
説明：コマンドライン引数の解析に失敗しました。
対処：オプションの指定方法が正しいか確認してください。
ログ：オプション

1190：作業ディレクトリ名が指定されていません。
説明：コマンドライン引数に作業ディレクトリ名が指定されてません。
対処：コマンドライン引数を指定する場合は作業ディレクトリ名を必ず指定してください。

1191：ジョブファイル名が指定されていません。
説明：コマンドライン引数に Job ファイル名が指定されていません。
対処：Job ファイル名の指定方法が正しいか確認してください。

1200：資源ファイルの読み込みに失敗しました。
説明：Job ファイルから参照されている Form ファイルの読込みに失敗しました。
対処：Form ファイルが正しく存在しているか確認してください。
ログ：Form ファイル名

1201：資源ファイルの読み込みに失敗しました。
説明：Job ファイルから参照されている Datamap ファイルの読込みに失敗しました。
対処：Datamap ファイルが正しく存在しているか確認してください。
ログ：Datamap ファイル名

1202：資源ファイルの読み込みに失敗しました。
説明：Job ファイルの読込みに失敗しました。
対処：Job ファイルが正しく存在しているか確認してください。
ログ：Job ファイル名

1203：資源ファイルの読み込みに失敗しました。
説明：Form ファイルから参照されている ffc ファイルの読込みに失敗しました。
対処：Form ディレクトリ内に ffc ファイルが正しく存在しているか確認してください。
ログ：ffc ファイル名

1205：ジョブファイルのバージョンが対応外です。
説明：Job ファイルは Create!Form V12 で作成されたもののみが対応しています。
対処：Create!Form V12 から作成した Job ファイルを使用してください。V12 以前の帳票資源ファイルを使用する場合は、「UpToV12」を使用して資源ファイルのアップロードを行ってください。
ログ：Job ファイル名

1206：不明なデータタイプが含まれています。
説明：データマップの種別が正しくありません。
対処：データマップの設定を確認してください。
ログ：Datamap ファイル名

1207：Datamap ファイルが見つかりません。
説明：ジョブユニットで指定されているデータマップが見つかりません。
対処：Datamap ファイルが正しく存在しているか確認してください。
ログ：Datamap ファイル名

1220：資源ファイルが見つかりません。
説明：Job ファイルから参照されている Form ファイルが見つかりませんでした。
対処：Form ファイルが正しく存在しているか確認してください。
ログ：Form ファイル名

1222：資源ファイルが見つかりません。
説明：ジョブリストにて選択した Job ファイルが見つかりませんでした。
対処：Job ファイルが正しく存在しているか確認してください。
ログ：Job ファイル名

1230：仕様書ファイル情報の取得に失敗しました。
説明：帳票仕様書の生成に使用するデータが正しく取得できませんでした。
対処：正しい帳票資源ファイルを使用しているか確認してください。
ログ：エラーインデックス値

1231：帳票資源ファイルの解析中にエラーが発生しました。
説明：帳票資源ファイルの解析中にエラーが発生しました。
対処：正しい帳票資源ファイルが指定されているか確認してください。
ログ：Job ファイル名

1240：仕様書テンプレート再読込エラーが発生しました。
説明：複数の帳票仕様書を生成する際に正しく処理が行われませんでした。
対処：帳票仕様書の生成中に他の Excel ファイルを操作していないか確認してください。

警告レベル

2000：一時ファイルの削除に失敗しました。
説明：帳票仕様書自動生成中に出力された一時ファイルの削除が正しく行えませんでした。
対処:一時ファイルが正しく削除されませんでした。一時ファイルの削除を行ってください。
ログ：一時ファイル名

2001：SQL が 1000 文字を超えました。
説明：Datamap ファイルで指定されている SQL が 1000 文字を超えています。1000 文字を超えた SQL については出力されません。

2002：帳票仕様書ファイル名の文字置換が行われました。
説明：仕様書ファイル名の自動修正オプションによってファイル名の文字置換が行われました。
ログ：文字置換後の帳票仕様書ファイル名

2003：帳票仕様書は自動生成されませんでした。
説明：すべての Job ファイルの処理がスキップされたため帳票仕様書の自動生成は行われません。

2004：ログファイルが見つかりません。
説明：ログファイルが出力されていないためログファイルが見つかりません。
対処：ログの表示はログファイルの出力後に行ってください。
ログ：ログファイル名

2005：帳票一覧が上書きされました。
説明：既に同ディレクトリに帳票一覧が存在しているため上書きされました。
ログ：帳票一覧ファイル名

2006：一時ファイルの削除に失敗しました。
説明：帳票仕様書自動生成中に出力された一時ファイルの削除が正しく行えませんでした。
対処:一時ファイルが正しく削除されませんでした。一時ファイルの削除を行ってください。
ログ：一時ファイル名

2007：変数オブジェクトが存在しません。
説明：Form ファイルに変数オブジェクトが存在していません。
ログ：Form ファイル名

2008：帳票レイアウトは出力されませんでした。
説明：帳票レイアウトが存在しないため出力されませんでした。
対処：Form エディターで対象の Form ファイルの再保存を行ってください。

7. 制限事項

7-1. 動作環境について

・帳票仕様書の生成には帳票資源ファイルが必要です。
・正常にランタイム実行が行える帳票資源ファイルのみ、正しい帳票仕様書の出力が行われます。
・帳票仕様書の出力を行うためには「Create!Form Design V12」がインストールされている必要があります。
・帳票仕様書の出力を行うためには「Microsoft Excel 2013,2016,2019」がインストールされ、VBA マクロ (Visual Basic for Application) の実行が正しく行える必要があります。

7-2. 動作全般について

・複数の作業ディレクトリから同時に帳票仕様書の出力は行えません。
・帳票仕様書の生成中に他の Excel を起動や動作させた場合、帳票仕様書の出力結果は保障されません。
・帳票仕様書の生成中は他のアプリケーションでの切り取り、貼り付け、コピーの動作は正しく行われません。

7-3. 仕様出力について

・帳票仕様書の出力フォーマットの変更はできません。
・帳票仕様書のフォーマット上、帳票資源ファイルから取得したすべての帳票仕様は出力されません。主要な仕様出力のみ行います。
・固定オブジェクトに関しては帳票仕様書の出力対象とはなりません。マッピングが定義された変数オブジェクトのみ出力対象となります。
※動的オブジェクトに設定された固定オブジェクトは出力対象となります。
・Form ファイルと Datamap ファイルで変数名の一致していない変数オブジェクトや、存在しない変数オブジェクトに関しては出力対象になりません。
・変数名の重複した変数オブジェクトに関しては、最初にマッピングが定義された変数名のみが出力対象となります。
・マッピング (XML) シートの「改ページ設定」の出力数は最大 30 です。
・SQL の設定の出力文字数は最大 1000 文字です。1000 文字以降に関しては出力されません。
・帳票仕様書のファイル名として使用できる最大文字数は 250 文字です。
・出力ファイル名として「帳票名」が設定された場合、同一帳票名の Job ファイルを複数選択し帳票仕様書の生成を行うことはできません。
・帳票仕様のデータ長が長い場合、Excel のセルに収まりきらない場合があります。
・Excel ファイルのファイル名として使用できない文字に関しては、帳票仕様書の生成時に自動的に文字置換が行われます。
・帳票仕様書を生成後に帳票資源ファイルの内容を変更した場合は、帳票仕様書を再度生成する必要があります。

7-4. 帳票一覧について

・ファイル名は「帳票一覧.xlsx」です。ファイル名の変更はできません。
・「帳票一覧.xlsx」が出力先ディレクトリに存在している場合は、上書き確認は表示されずに上書きされます。

7-5. 出力ファイル形式について

・帳票仕様書の出力ファイル形式は「Excel ブック (*.xlsx)」形式のみです。他のファイル形式へ変更することはできません。

7-6. 帳票レイアウトについて

・複数のオブジェクトを同じ位置にレイアウトしている場合は、帳票レイアウトの出力の際に、変数 NO が重なって出力されます。
・環境の画面解像度の設定によって帳票レイアウトイメージのサイズが変化する場合があります。
・帳票レイアウトイメージのサイズは 96DPI を基準としているため、DPI の設定を変更して帳票仕様書の生成を行った場合は、帳票レイアウトイメージのサイズが正しく出力されません。

Create!Form 12

帳票仕様書 第 2 版

発行日 2024 年 8 月
発行者 インフォテック株式会社